

---

## 特集 生活習慣病を克服して、健康寿命を延伸するために

---

### 【巻頭言】

佐田 政隆 (徳島大学大学院医歯薬学研究部循環器内科学分野)  
阪上 浩 (徳島大学大学院医歯薬学研究部代謝栄養学分野)

2018年の人口動態統計によると、心疾患は死亡原因の第2位、脳血管疾患は第4位であり、両者を合わせると、がんに次ぐ死亡原因となっている。また、介護が必要となった主な原因に占める割合は、脳血管疾患が16.1%、心疾患が4.5%であり、両者を合わせると20.6%と最多である。さらに、2017年度の傷病分類別医科診療医療費のうち、循環器系の疾患が占める割合は、19.7%と最多である。このように、循環器病は国民の生命や健康に重大な影響を及ぼす疾患であるとともに、社会全体に大きな影響を与える疾患である。

こうした現状に鑑み、誰もがより長く元気に活躍できるよう、健康寿命の延伸等を図り、あわせて医療及び介護に係る負担の軽減に資するため、予防や医療及び福祉に係るサービスの在り方を含めた幅広い循環器病対策を総合的かつ計画的に推進することを目的として、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が2018年12月に成立した。同法では、①循環器病の予防や普及啓発②循環器病患者等に対する保健、医療、福祉サービスの提供対策の充実③研究推進の3つの達成を通じて、「健康寿命の延

伸」を図るとともに、「循環器病の年齢調整死亡率の減少」を目指している。

その実現のためには、循環器病の予防や急性期の対応については、救急現場から医療機関へ迅速かつ適切に搬送できる体制の構築が求められている。また、予防から発症後の急性期、回復期、慢性期、それぞれへの対策を進めるだけではなく、発症後においても再発予防や重症化予防を繰り返し行う対策が必要である。そのため、各都道府県には多職種の医療従事者、患者からなる循環器病対策推進協議会が設置され具体的な計画が審議されており、徳島県では全国に先駆けて、「徳島県循環器病対策推進計画」が2021年10月に発表になった。

本特集では、生活習慣病から起こる心臓病とメタボリックシンドロームの発症の予測因子について概説していただき、生活習慣病を克服するための運動、栄養学、さらには、最新の循環器病の治療法を紹介して、最後に「徳島県循環器病対策推進計画」の概要を紹介する。本特集が、徳島県民の健康寿命の延伸と、循環器病による年齢調整死亡率の減少に少しでも役立つことを祈念する。